

ホームネットワークは未来をお届けします。でも、1回目はちょっと歴史をひも解いてみましょう。未来は過去に学べと言いますから。

ホームネットワークの話をする前に、20年前、1983年にタイムスリップをします。

テレビはもう一家に一台でしたね。ビデオデッキはどうでしょう。まだお金持ちだけに物のようです。よく見るとアンテナ線をテレビにつないで、2チャンネルで再生しています。UHFとVHFのアンテナ線を別々に這わしている事が多いようです。



コンピュータはどうでしょう。16ビットのパソコンが発売されています。むずかしいコマンドを覚えなくてはいけません。まだまだ高くて、大学の研究室も1台だけぼつんとあります。家庭で見かけることはほとんどありません。

次は10年前に行ってみます。1993年です。なんと10年の間で、ビデオデッキが無い家は珍しいくらいになりました。テレビもビデオ用の端子が付きまして。BS放送が始まって、ゴーストの無いきれいな絵がS-VHSで録画できるようになりました。テレビは一人に一台になる勢いです。各部屋にアンテナ端子と言う声が聞こえます。この年にCS放送も始まりました。

パソコンはと言えば、1991年に発表された基本OS、DOS/Vと共に海外メーカーが日本市場に参入したため、価格が劇的に下がりました。会社にいくと、一人に一台のパソコンが揃いつつあります。個人でも買ってみる人が増えてきました。

さて、今年2003年、テレビ、ビデオが各部屋にあっても、そう珍しくありません。パソコンも普及率が60%を超え、一家に一台から一人に一台へととなりつつあります。

新たに注目されたのはインターネットですね。ビデオが普及し始めた1983年、実は、インターネット通信のしくみとして、今も使われつつけているTCP/IPが始めてアメリカで実際に運用されました。

日本で商用インターネット接続運用が開始され、ブラウザMosaicが登場したのが1993年でした。そして、その後の10年でインターネット普及率は80%以上になりました。現在は、高速な常時接続ブロードバンド環境への移行が急激に進んでいるのはご承知のとおりです。



10年後を考えてみましょう。パソコンは一人に一台になり、子供たちは宿題をメールで送っています。プリンタはネットワークにつないでみんな使います。

新三種の神器と言われているデジタルカメラ、薄型テレビ、DVDレコーダも普及率が上がります。

録画したテレビ番組は、パソコンで編集してDVDに保存します。インターネットカメラで会社にも家の様子がわかります。IP電話で海外の人とも時間を気にせず話せます。

どうですか。パソコンやプリン

タ以外にもIP電話、カメラ、デジタル家電などがネットワークで結ばれて、便利に使われています。

今では、アンテナの端子や電話のジャックが各部屋にある事が当たり前ですが、10年前に準備していなければ、その家はテレビを増やすたびにアンテナ工事をし、壁に穴を開けなくてはならない場合もあるでしょう。

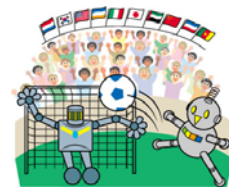
これから家を建てようとするのなら、家庭のネットワークのことを準備しておきたいですね。10年後も安心になります。高速なネットワークを各部屋から使える様にする、これを実現するのがホームネットワークです。

現在、ブロードバンド最速はFTTHの100Mbpsです。この100Mbpsは光ファイバーにイーサネットを用います。これまで、イーサネットは、主に会社内でのコンピュータネットワークを構築するために使われていましたが、今や会社と会社、会社と家庭、家庭とインターネットを結ぶネットワークにも応用されています。

大企業では、1Gbpsの速度は当たり前ですし、10Gbpsの導入も始まりました。FTTHの100倍の速度が実際に使われているのです。

ホームネットワークはこのイーサネットを先行配線します。将来の高速化にも対応できますね。

最後に、イーサネットの原理が發明されたのは、ちょうど30年前1973年でした。



明されたのは、ちょうど30年前1973年でした。